

2015年11月28日(土)

Sports Policy for Japan 2015

# 運動部活動外部指導者導入促進 に向けての施策

—全国共通の学校運動部活動  
外部指導者バンクの構築・運用によって—

早稲田大学武藤泰明研究室C

小松頌昌、酒井翼、佐藤大、丸山真輝、李松河

# OUTLINE

- 背景
  - 教員指導者の現状
  - 外部指導者の現状
- 外部指導者を増やすために
  - スポーツ庁が主体となった  
学校運動部活動外部指導者バンクの構築
  - コーチ・フォー・ジャパン (CFJ)
- まとめ

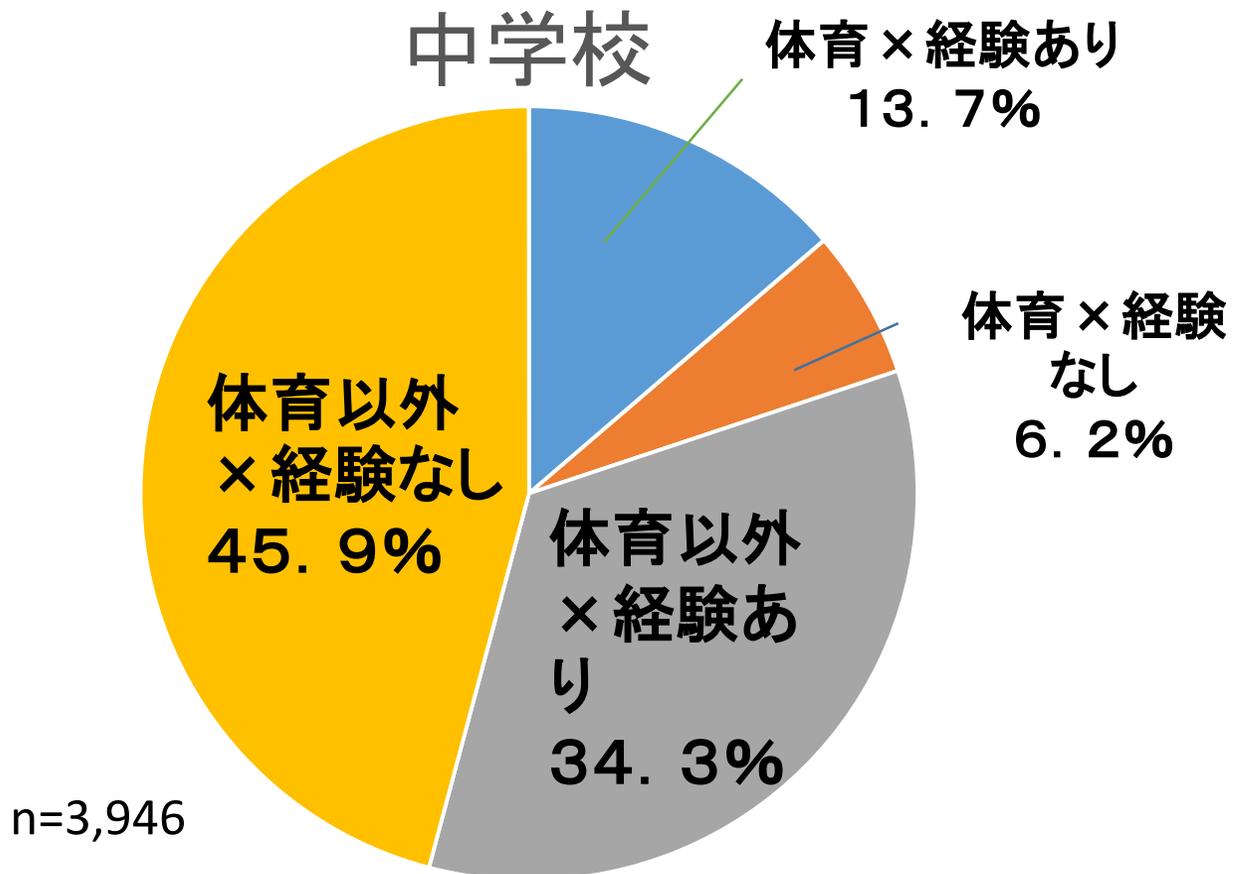
# 背景

- ◆教員指導者の現状
- ◆外部指導者の現状

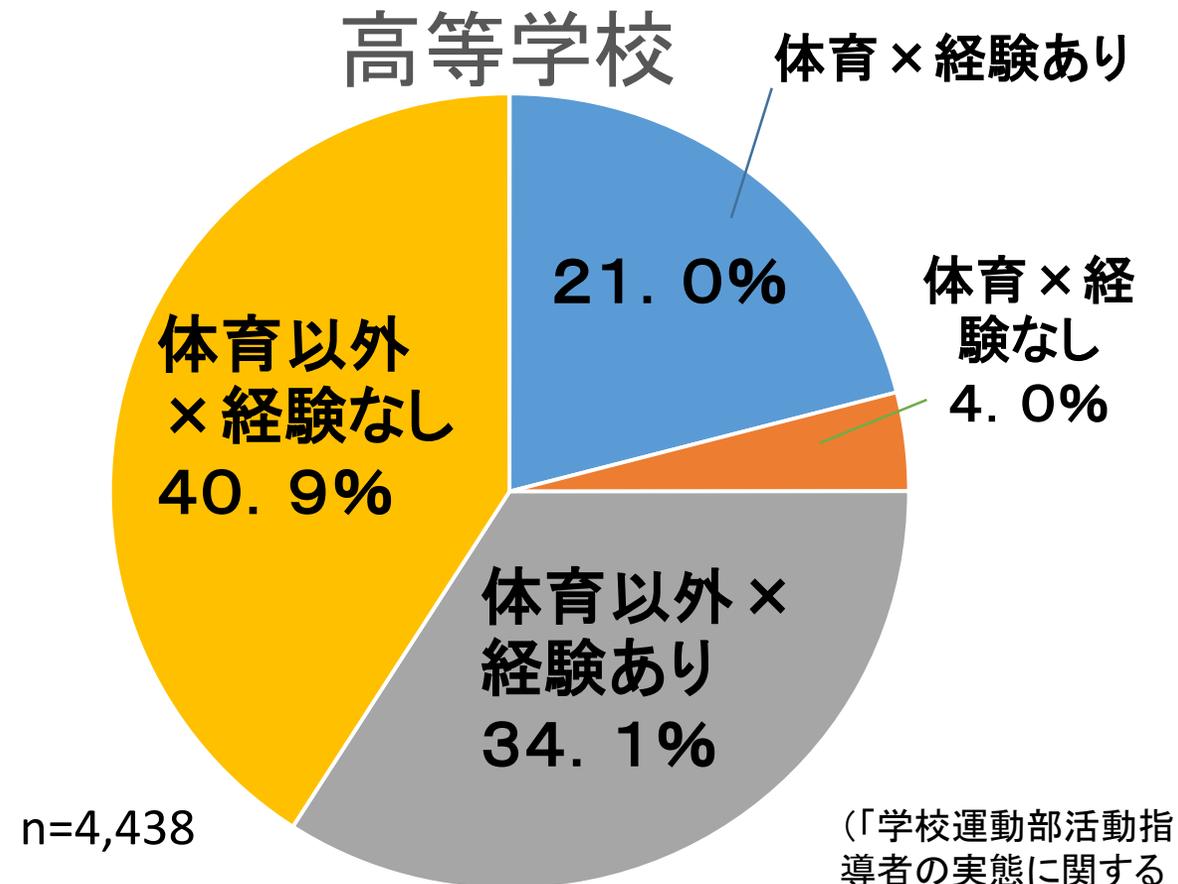
# ◆教員指導者の現状

# 担当教科 × 現在担当している競技の過去経験の有無

中学校

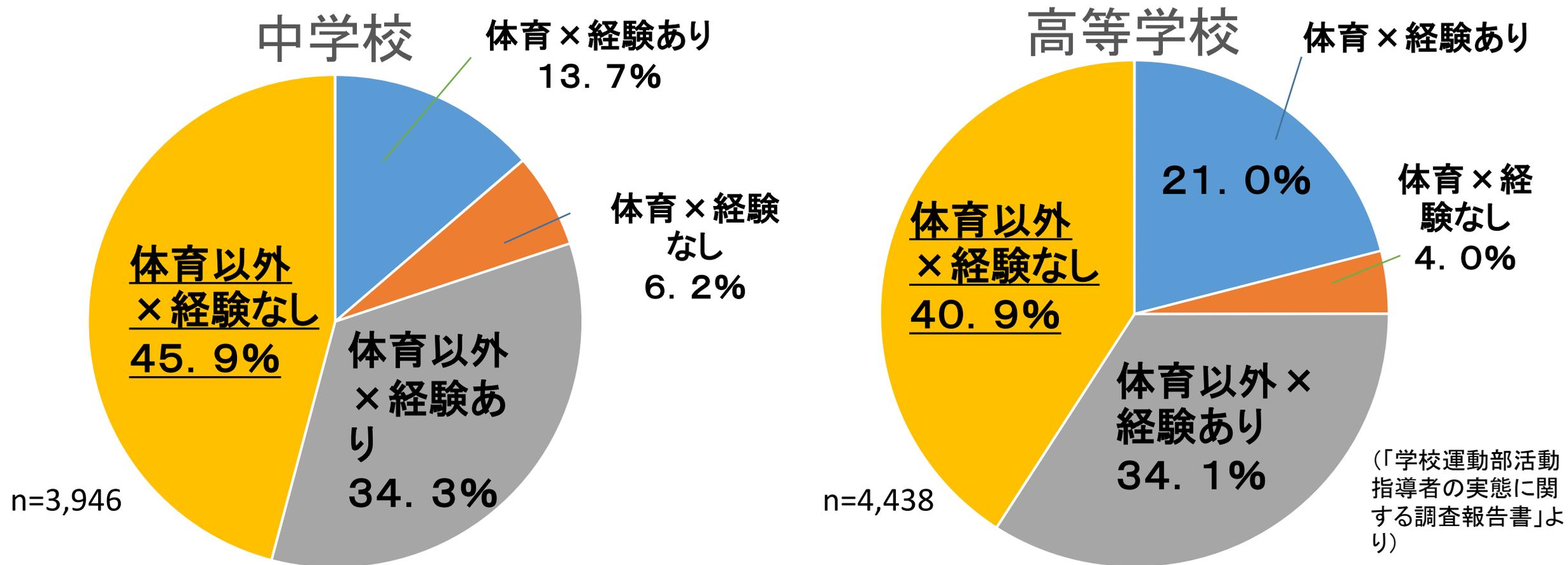


高等学校



(「学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書」より)

# 担当教科 × 現在担当している競技の過去経験の有無



体育教員ではなく、経験がない競技の指導をしている群が最も多い

# 指導において最も問題・課題であると感じている項目

中学校	全体	体育× 経験あり	体育× 経験なし	体育以外× 経験あり	体育以外× 経験なし
第1位	校務が忙しくて思うように指導できない (32.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない (36.7%)	校務が忙しくて思うように指導できない (29.1%)	校務が忙しくて思うように指導できない (40.2%)	自分自身の専門的指導力の不足 (39.5%)
第2位	自分自身の専門的指導力の不足 (26.7%)	施設・設備等の不足 (18.5%)	自分自身の専門的指導力の不足 (27.8%)	自分自身の専門的指導力の不足 (26.7%)	校務が忙しくて思うように指導できない (25.6%)
第3位	自分の研究や自由な時間の妨げになっている (13.6%)	部員数が少ない (17.5%)	部員数が少ない (13.5%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている (14.8%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている (14.9%)

(「学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書」より)

# 指導において最も問題・課題であると感じている項目

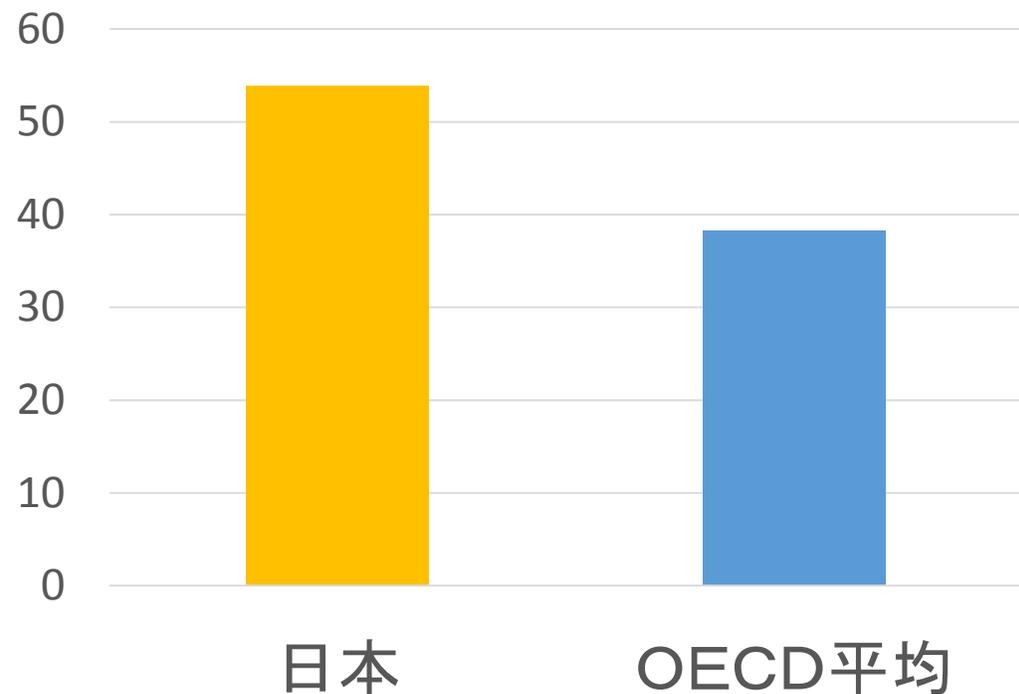
中学校	全体	体育× 経験あり	体育× 経験なし	体育以外× 経験あり	体育以外× 経験なし
第1位	校務が忙しくて思うように指導できない (32.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない (36.7%)	校務が忙しくて思うように指導できない (29.1%)	校務が忙しくて思うように指導できない (40.2%)	自分自身の専門的指導力の不足 (39.5%)
第2位	自分自身の専門的指導力の不足 (26.7%)	施設・設備等の不足 (18.5%)	自分自身の専門的指導力の不足 (27.8%)	自分自身の専門的指導力の不足 (26.7%)	校務が忙しくて思うように指導できない (25.6%)
第3位	自分の研究や自由な時間の妨げになっている (13.6%)	部員数が少ない (17.5%)	部員数が少ない (13.5%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている (14.8%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている (14.9%)

(「学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書」より)

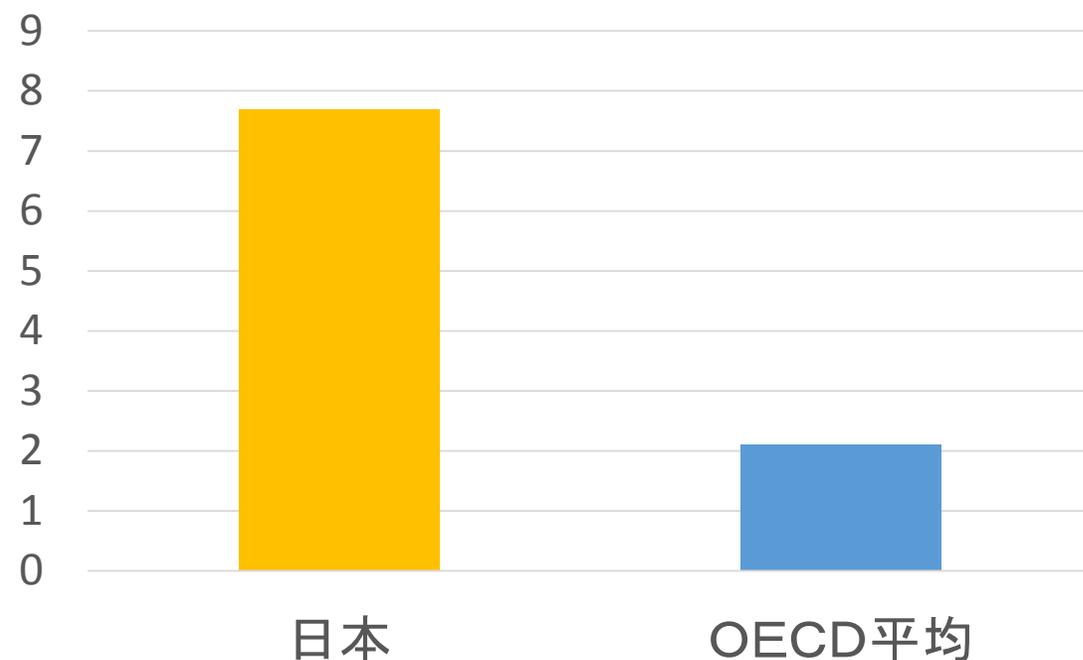
教員の多忙化  
専門的指導力の不足  
が大きな問題に

# 教員の勤務時間/課外活動の時間(一週間あたり)

## 教員の勤務時間



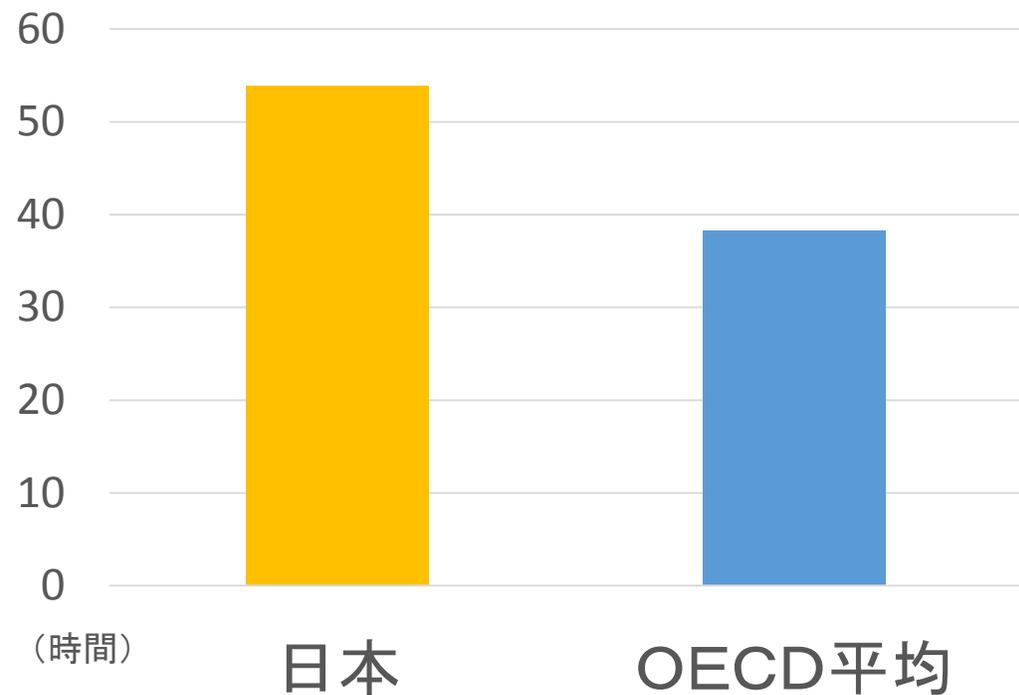
## 課外活動の時間



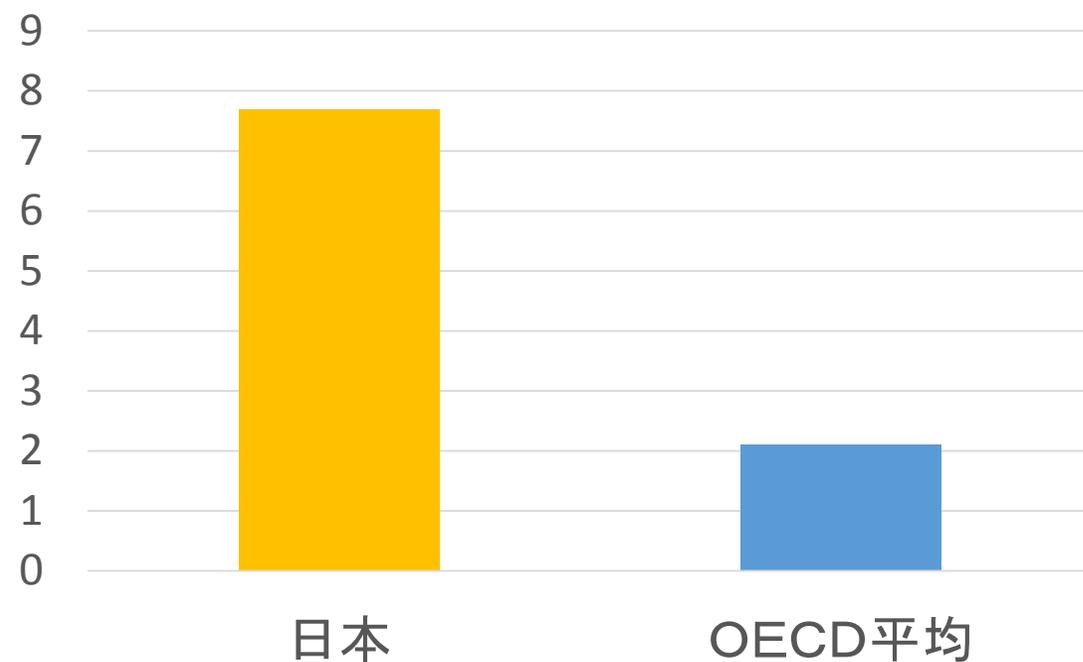
(OECD 国際教員指導環境調査より)

# 教員の勤務時間/課外活動の時間(一週間あたり)

## 教員の勤務時間



## 課外活動の時間

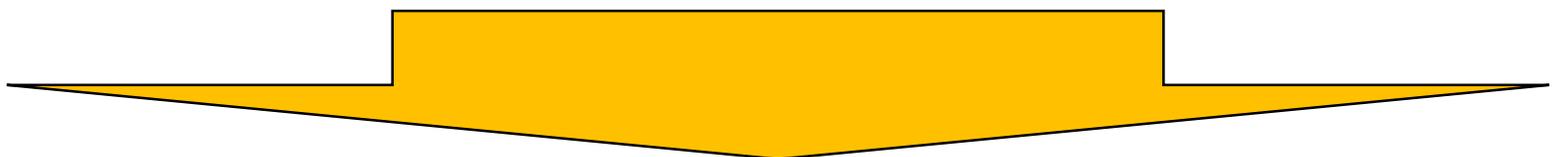


(OECD 国際教員指導環境調査より)

諸外国と比べて教員の負担が大きい

# 教員指導者の現状 まとめ

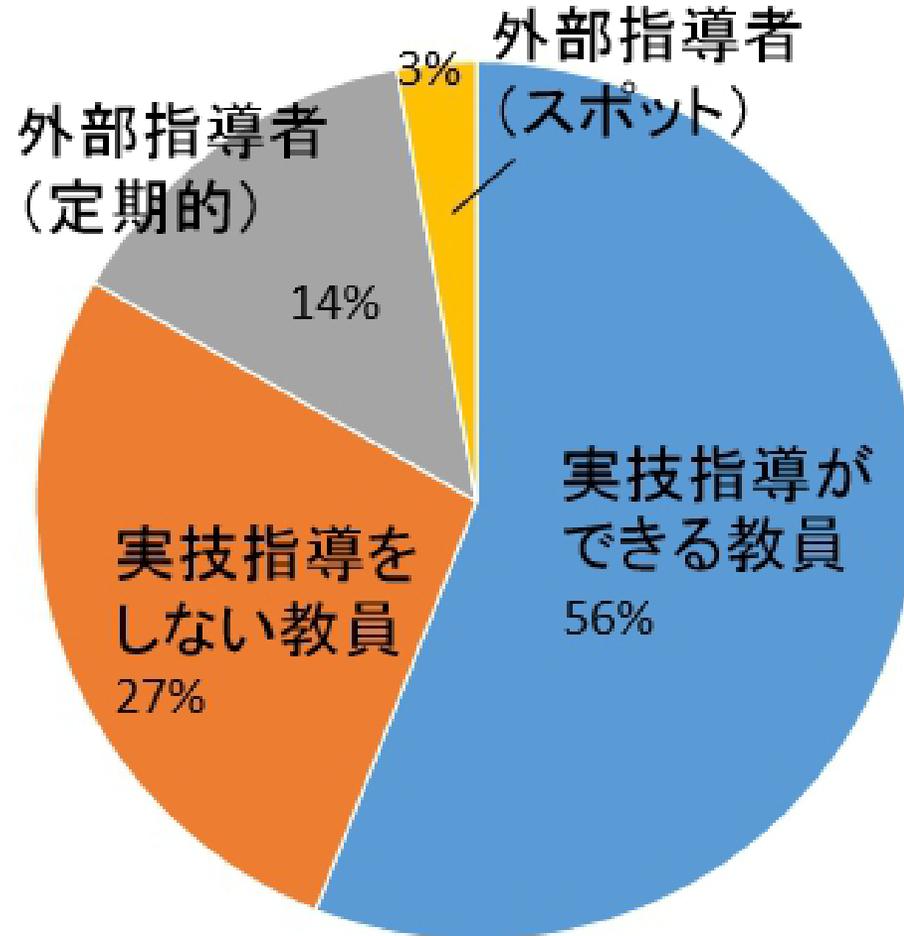
- ① 体育教師でもなく競技経験のない指導者が、  
中学校では約半数を占める。
- ② 校務の多忙化・専門的指導力の欠如から、  
部活動の指導が困難になっている。



外部指導者登用が必要

# ◆外部指導者の現状

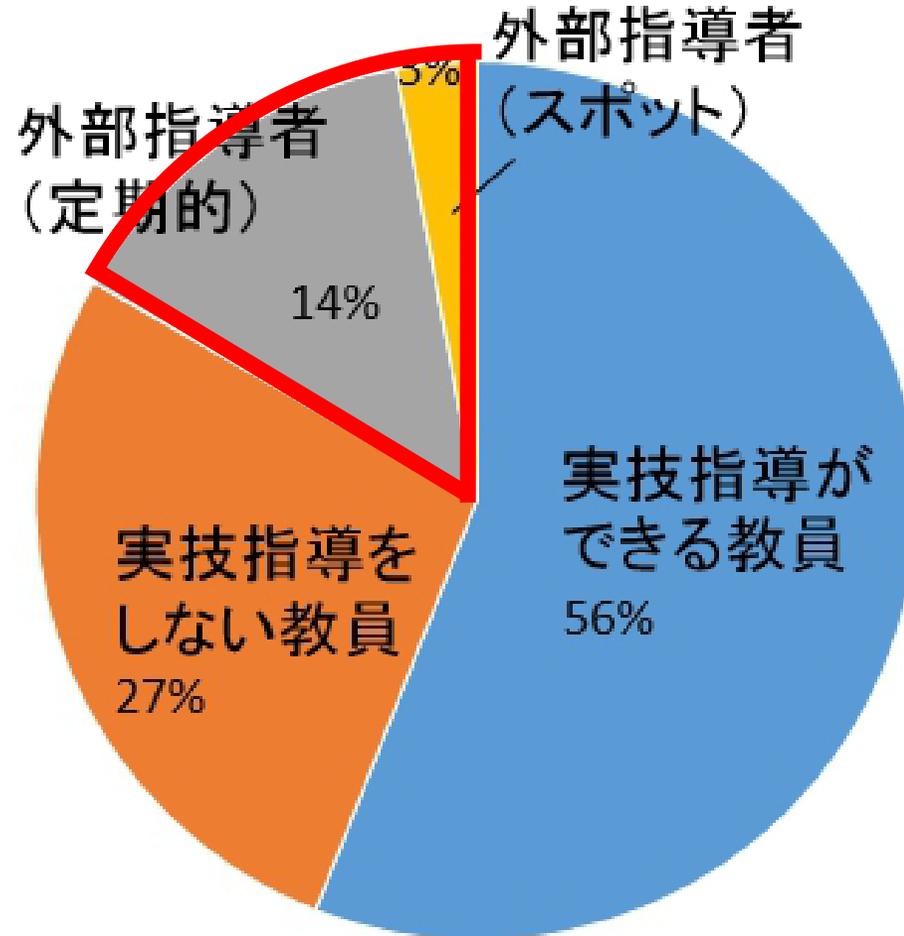
# 中学部活動における教員と外部指導者の割合



一部活につき  
平均1.84人の指導者

(「学校運動部活動指導者の実態に関する調査」より作成)

# 中学部活動における教員と外部指導者の割合

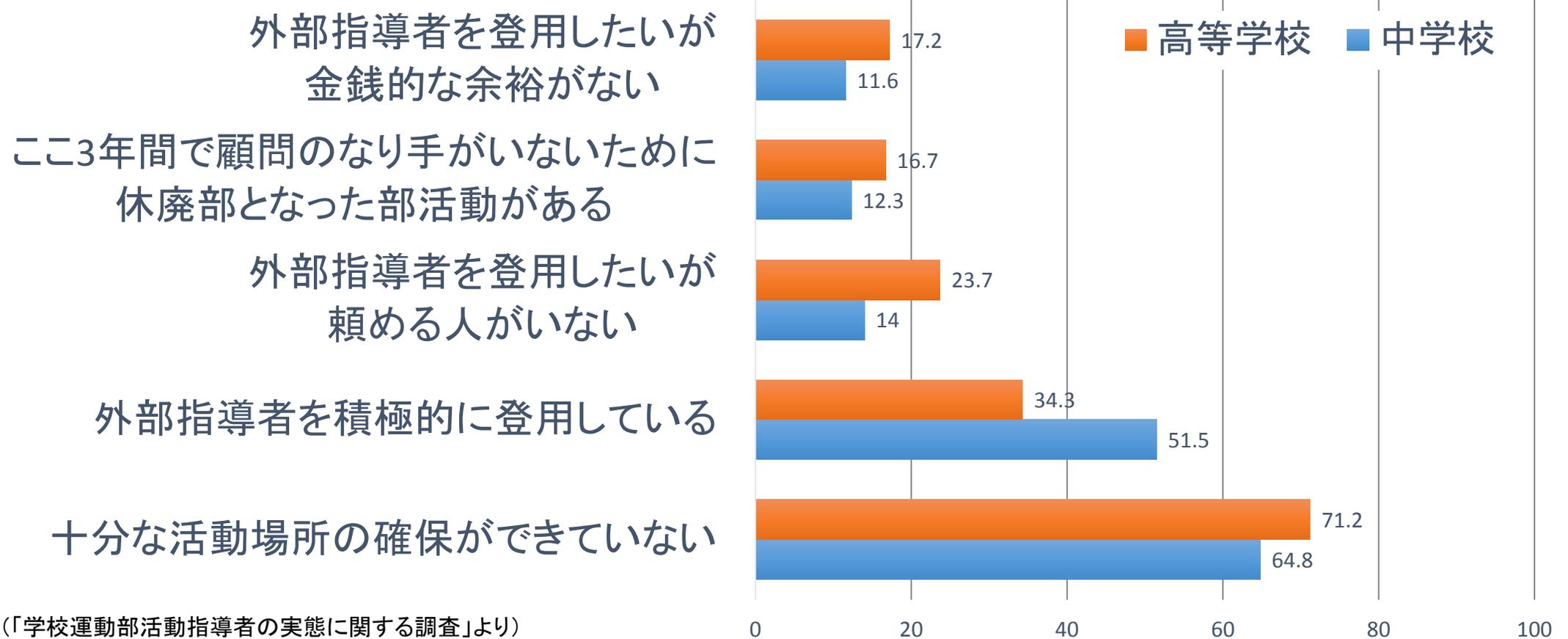


一部活につき  
平均1.84人の指導者

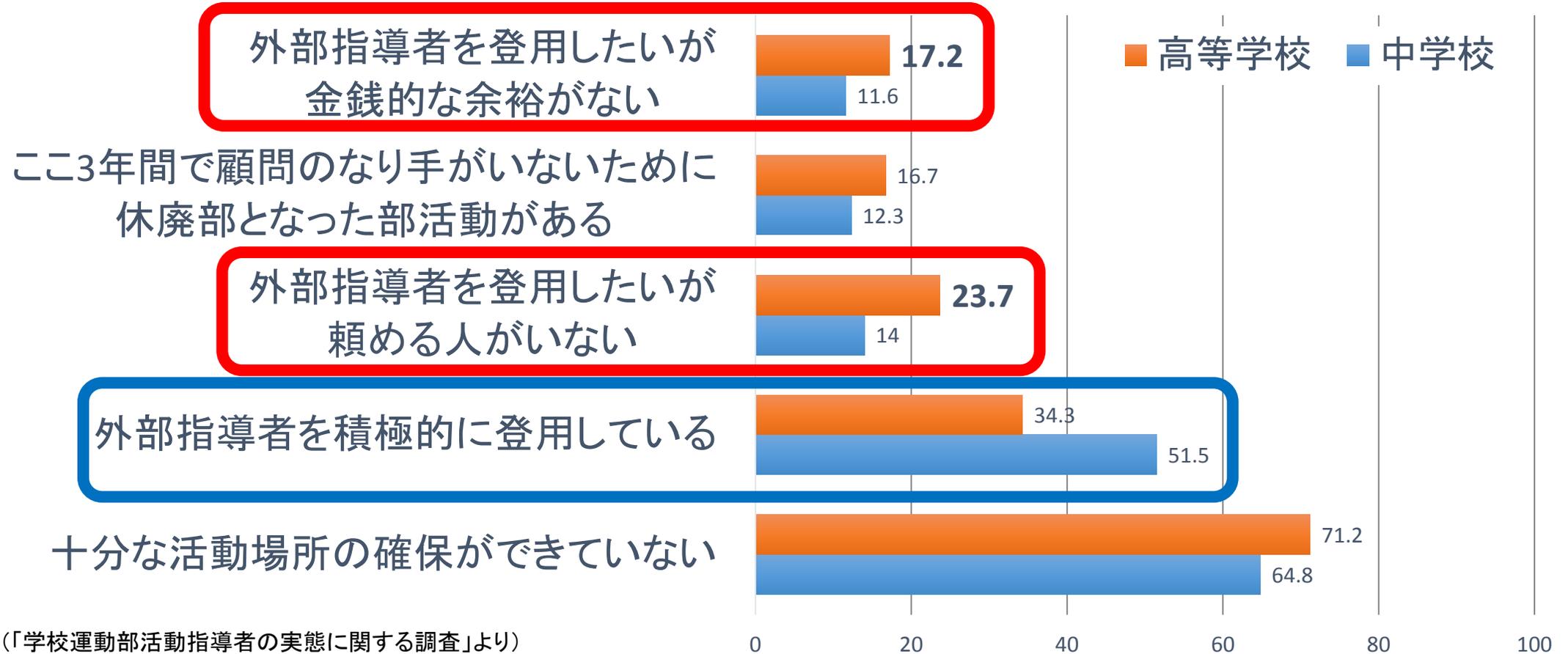
(「学校運動部活動指導者の実態に関する調査」より作成)

外部指導者を十分に活用できていない

# 学校から見た部活動の状況(%)



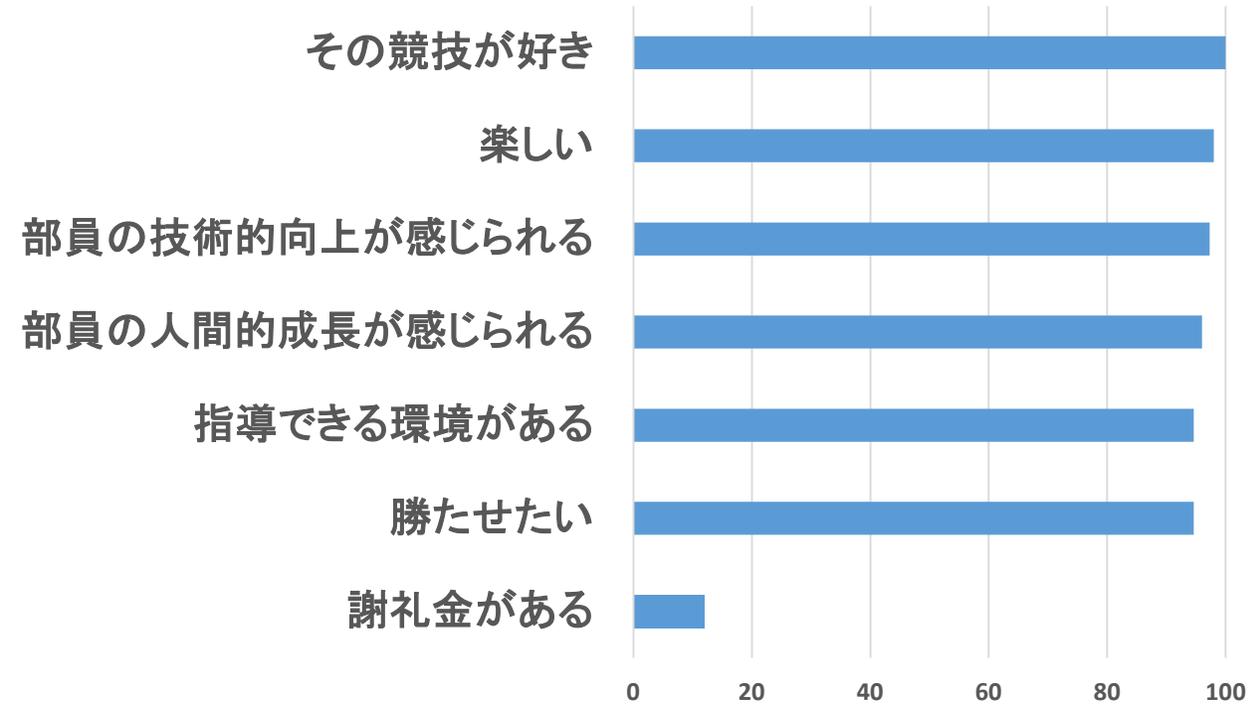
# 学校から見た部活動の状況(%)



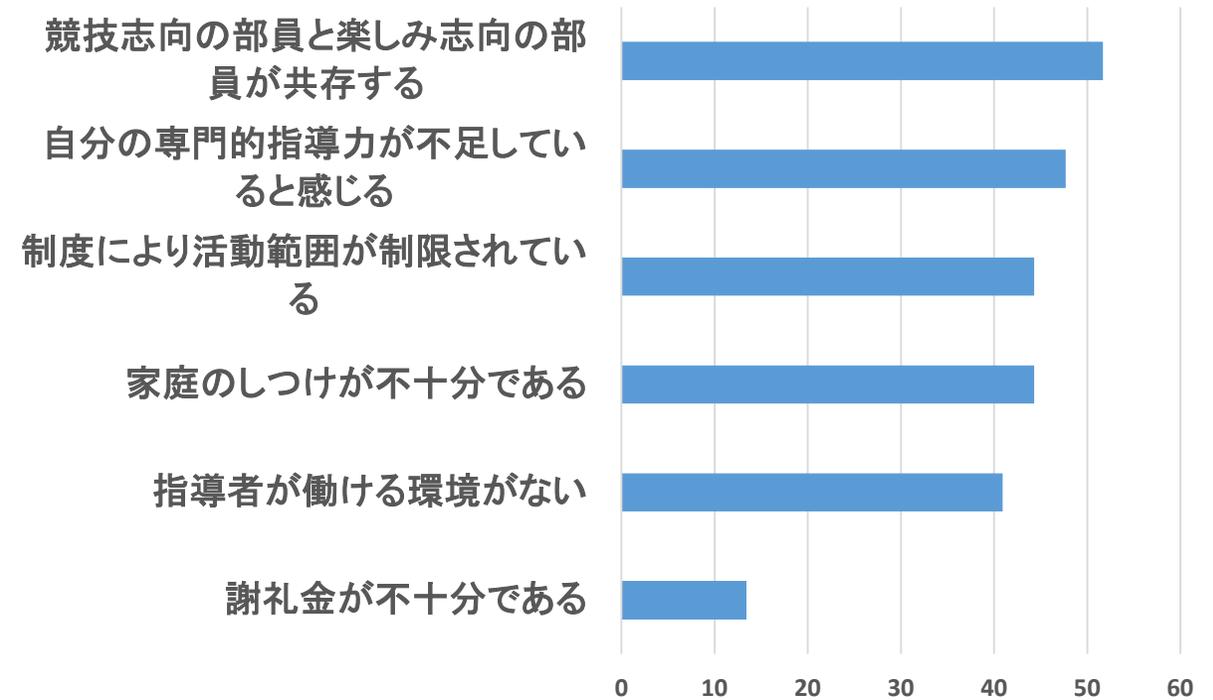
外部指導者を積極的に登用しているが、  
まだまだ改善の余地がある

# 外部指導者から見た指導促進要因/阻害要因

## 促進要因



## 阻害要因



(「外部指導者の部活動への関与を推進する効果的な方策の検討」より)

# 外部指導者から見た指導促進要因/阻害要因

## 促進要因



## 阻害要因



(「外部指導者の部活動への関与を推進する効果的な方策の検討」より)

謝礼金よりも、楽しさや子供の成長を求める

# 各地方自治体の外部指導者募集・派遣方法

- 神奈川県 各市町村の教育委員会が別々に募集・派遣
- 千葉県 県教育委員会が「スポーツエキスパート」を人材派遣バンクとして運用
- 埼玉県 県教育委員会が大学生をインターンシップとして募集・派遣。

## 各地方自治体の外部指導者募集・派遣方法

- 神奈川県 各市町村の教育委員会が別々に募集・派遣
- 千葉県 県教育委員会が「スポーツエキスパート」を人材派遣バンクとして運用
- 埼玉県 県教育委員会が大学生をインターンシップとして募集・派遣。

各自治体や各市町村によって、  
募集方法や派遣方法がバラバラ。  
また、一度教育委員会を通すのでプロセスが煩雑。

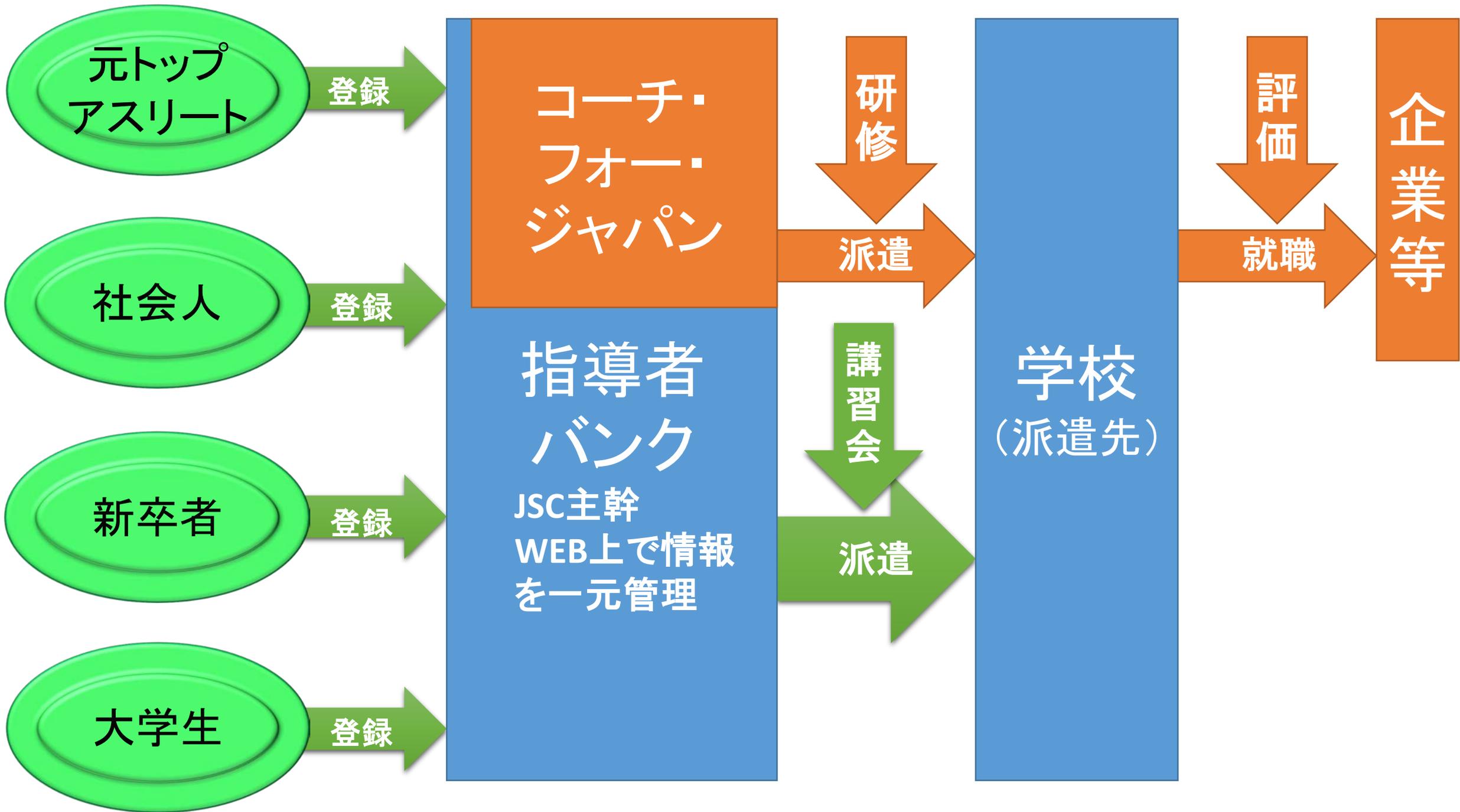
# 外部指導者の現状 まとめ

- ①十分に**活用され切れていない**。
- ②学校は積極的に登用に努めているものの、  
**金銭的な余裕がない、頼める人がいない**等の問題が。
- ③その一方で、外部指導者は**謝礼金よりも楽しさや子供の成長**を求める。
- ④各自治体や各市町村によって募集方法や派遣方法が**バラバラ**。また、一度教育委員会を通すので**プロセスが煩雑**。

外部指導者を増やすために

◆スポーツ庁が主体となった  
学校運動部活動外部指導者バンクの構築

を提言します！



# 外部指導者を増やすために

- 学校：頼める人がいない

⇒外部指導者になりうる人の**母数を増やす**必要。

① **元トップアスリート**を登用(←JSCからの補助金)

② ①によって指導者バンクの**認知度を高め**、

潜在的な外部指導者を顕在化させる。

- 自治体：募集方法や派遣方法がバラバラ

⇒全国のシステムやデータを**WEBで一元管理**する。

- 外部指導希望者：プロセスが煩雑

⇒インターネット上から**気軽に**登録可能に。

# 一元管理によって期待される効果

- 外部指導希望者にとって

⇒全国で共通、一つだけなので**分かりやすくなる**

- 地方自治体にとって

⇒指導者募集システムを構築する**手間が省ける**

- JSCにとって

⇒データが集まってくるため、**情報の蓄積、部活動指導者の実態把握**に繋がる

# コーチ・フォー・ジャパン

- ティーチ・フォー・アメリカのスキームを応用
- 指導者バンクに登録した人の中から希望者を全国の外部指導者希望校に派遣  
⇒1～2年の指導の結果を評価し、キャリアアップに繋げる
- 就職情報会社とパートナーシップ契約を結び、  
資金調達およびプログラム参加者の就職の斡旋を実現。

# ティーチ・フォー・アメリカとは

- 2010年米国文化系大学生の就職人気ランキングで1位になった**教育NPO団体**。
- 米国内の**教育困難地域**に、学部卒業生を教師として2年間派遣。
- 「**コミュニケーション能力**」  
「**リーダーシップ**」  
「**課題解決能力**」 を育成
- プログラムを終えた優秀な人材は企業から評価され、大企業に就職する。

行政

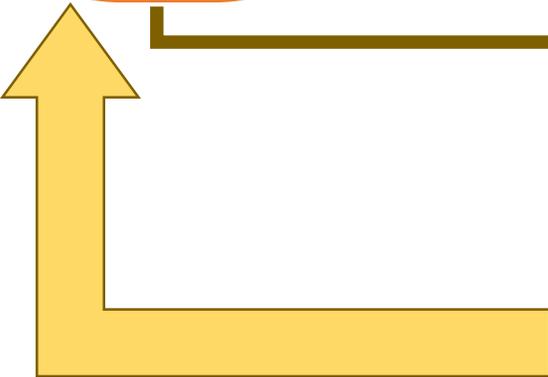


ティーチ・  
フォー・  
アメリカ

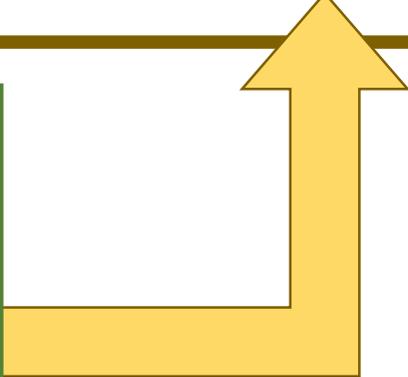
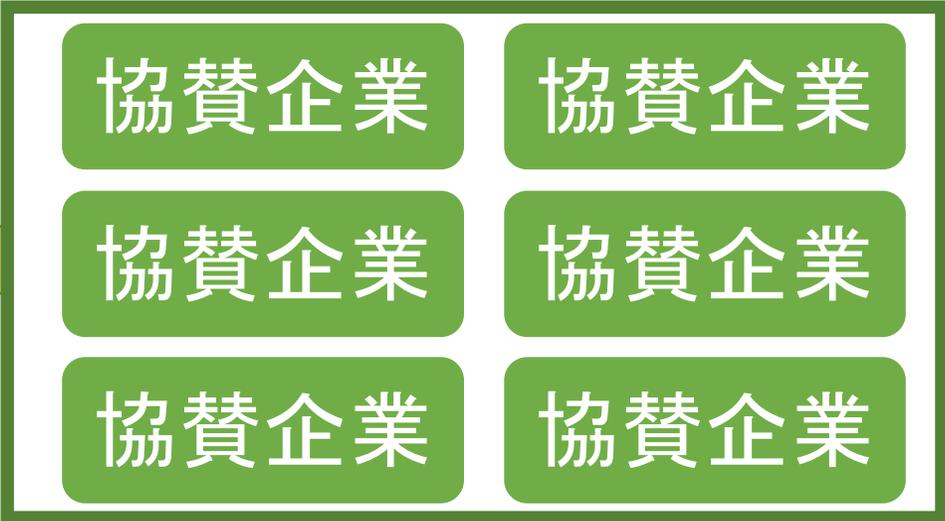
計画・  
企画

採用・  
派遣

コミュニケーション能力  
リーダーシップ  
課題解決能力



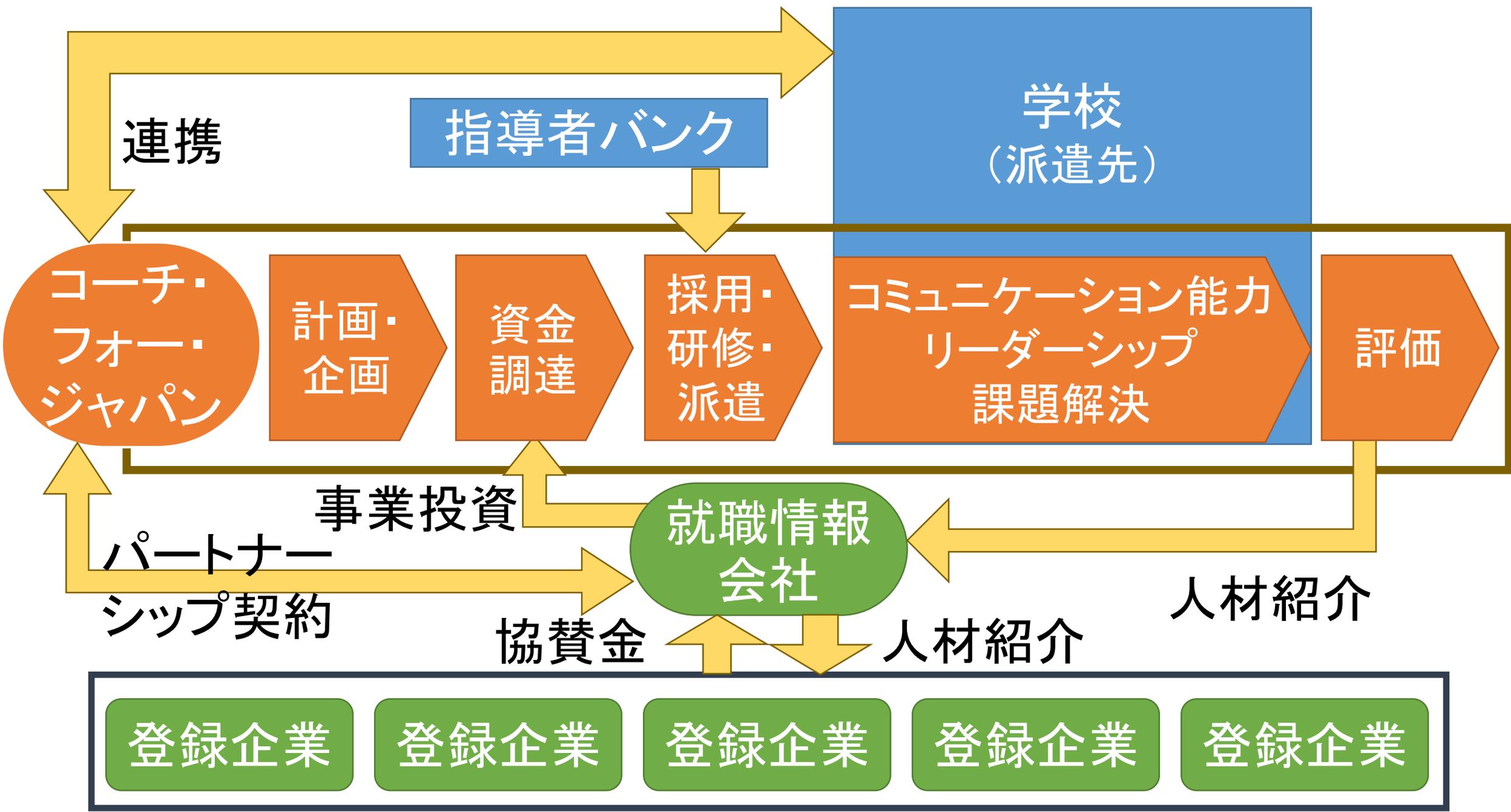
協賛金  
協賛品



評価・採用

# コーチ・フォー・ジャパン

- ティーチ・フォー・アメリカのスキームを応用
- 指導者バンクに登録した人の中から希望者を全国の外部指導者希望校に派遣  
⇒1～2年の指導の結果を評価し、キャリアアップに繋げる
- 就職情報会社とパートナーシップ契約を結び、資金調達およびプログラム参加者の就職の斡旋を実現。



連携

指導者バンク

学校  
(派遣先)

コーチ・  
フォー・  
ジャパン

計画・  
企画

資金  
調達

採用・  
研修・  
派遣

コミュニケーション能力  
リーダーシップ  
課題解決

評価

就職情報  
会社

事業投資

パートナー  
シップ契約

協賛金

人材紹介

人材紹介

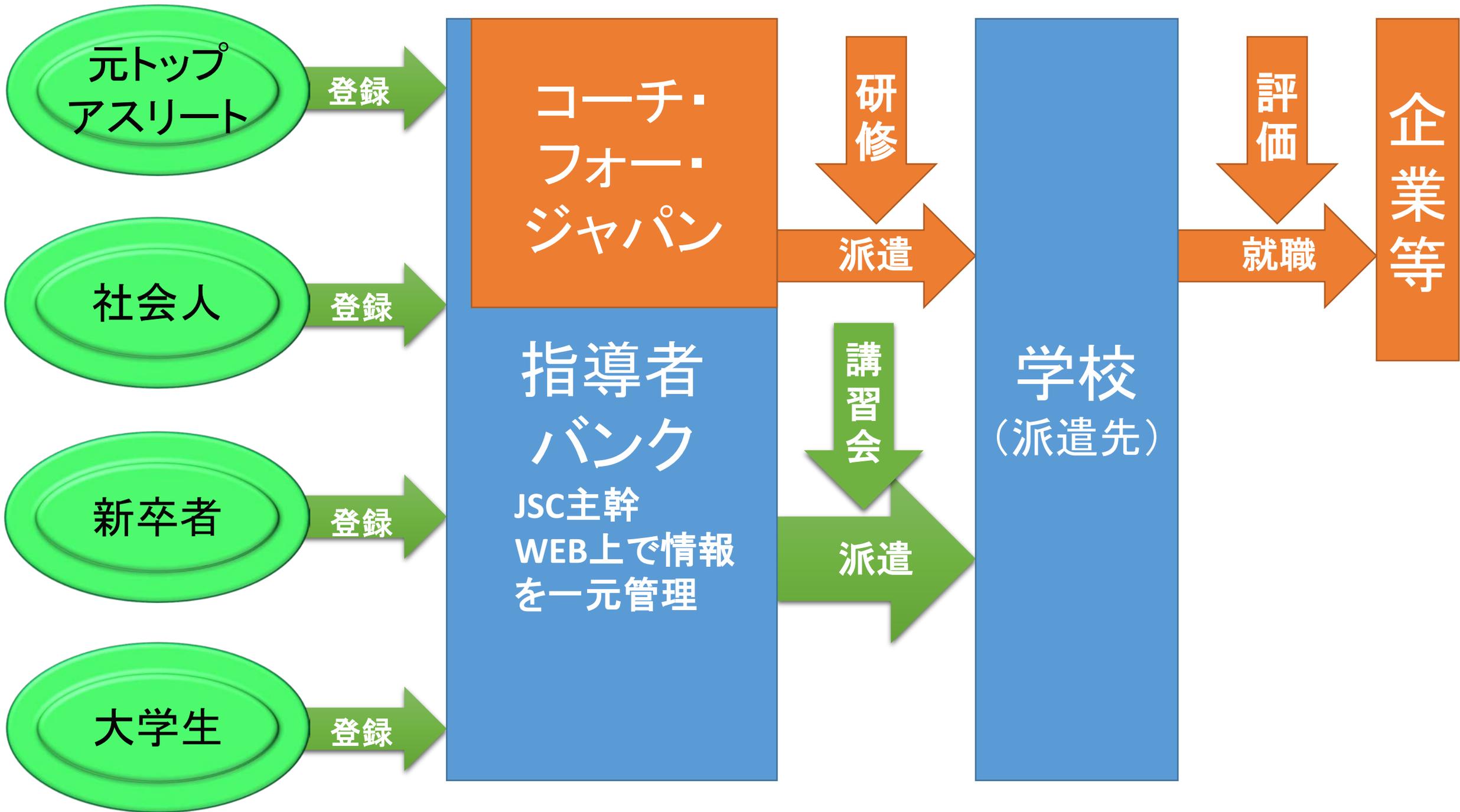
登録企業

登録企業

登録企業

登録企業

登録企業



# 財源

◆指導者バンク/元トップアスリート登用の補助金  
・スポーツ庁の予算

◆コーチ・フォー・ジャパン(CFJ)  
・就職情報会社からの事業投資  
・就職情報会社に登録している企業の中で、プロジェクトに協賛する企業からの協賛金

# まとめ

- スポーツ庁が主体となった学校運動部活動外部指導者バンクを構築・運用することで、利用者の**利便性を向上**させる
- 同時に元トップアスリートも登用することで、**指導者の母数**を増やすとともに指導者バンクの**認知度を向上**させる
- 指導者バンクやコーチ・フォー・ジャパンの運用によって**外部指導者を増やし**、部活動における**専門的指導力を向上**させるとともに、教員の**精神的・肉体的疲労を軽減**させる

# 参考文献

- 大勝 志津穂(2011)「部活動における地域の人材活用方法—名古屋市の部活動外部指導者の取り組みについて—」東邦学誌第40巻第1号
- 公益財団法人日本体育協会 指導者育成専門委員会(2014)「学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書」
- 公益財団法人日本中学校体育連盟HP(2015)「外部指導者・依頼監督について」
- Think-ing(2013)「外部人材募集窓口のワンストップ化—外部人材募集窓口のワンストップ化—」彩の国さいたま人づくり広域連合
- 文部科学省(2013)「体罰の実態把握について(第二次報告)」
- 埼玉県教育委員会(2015)「平成27年度埼玉県運動部活動インターンシップ《…輝け!埼玉の部活たち!…》実施要領」

# 参考文献

- 笹川スポーツ財団(2013) SSFスポーツ製作研究 第2巻1号 p. 252-259 「外部指導者の部活動への関与を推進する効果的な方策の検討」
- 武藤泰明ホームページ「地域経済の発展に向けて 第16回: ティーチ・フォー・アメリカ」<http://muto-web.jp/rensai/chiiiki016.html> (2015, 11月21日閲覧)
- DIAMOND online「なぜ非営利組織が、就職先としてグーグルやディズニーより人気が高いのか。」  
<http://diamond.jp/articles/-/34669> (2015, 11月21日閲覧)

ご清聴ありがとうございました

補足

# 導入プロセス

- ①埼玉県のみで導入
- ②試行錯誤しながら、  
モデルとして確立した後に全国で展開

・様々なスポーツイベント、スポーツ振興に積極的である。

(ex. さいたまスポーツコミッション、埼玉県スポーツ推進計画・・・)

・埼玉県運動部活動インターンシップ・・・保健体育科教員を目指す大学生等を指導者として中学校、高校に派遣するインターンシップ



既に県内の大学生を中学校・高校に派遣する枠組みはあるため、外部指導者の派遣を実施しやすい。

# 協賛企業のメリット

- プログラムに参加した優秀な人材との接点を持つ機会の付与
- CFJがプログラムを修了した人材の評価を出すため、企業としては求めている人材とのミスマッチを抑える

# 外部指導者導入の光と影

## メリット

- 教師の負担軽減
- 専門的指導が可能に
- 部活動を「開かれた」活動に
- 担当教員が居ないため作れなかった部活動を設置できる
- トップアスリートのセカンドキャリアの受け皿になりうる

## 問題点

- 費用が掛かる
- 「学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意する」必要性がある
- 地域によって部活動に対する意識に違いがある
- 行政、地域社会、学校の相互の連携が不十分

## ●トップアスリートの登用

- トップアスリートのセカンドキャリア問題が深刻
  - キャリアトランジションを考える上で、  
    スポーツ指導者が最も考えやすい?
  - アスリートの持つ人的資本は、  
    中高生の選手育成にとって有効な資本となりうる
- ★プロ・アマを超えた連携をとり、受入体制を確立することが肝要

日本のスポーツを担う、中高生世代の競技力向上に期待

# 中学部活動における外部指導者数(平成27年度)

**合計: 29,626人**

## 都道府県別 総外部指導者数(人)

<u>上位</u>		<u>下位</u>	
東京	1,879	高知	133
北海道	1,652	岡山	128
福岡	1,643	滋賀	113
岐阜	1,393	鳥取	90
岩手	1,391	和歌山	54

## 都道府県別 1校当たりの外部指導者数(人)

<u>上位</u>		<u>下位</u>	
山形	11.5	高知	0.9
富山	8.4	京都	0.8
岐阜	6.9	栃木	0.8
岩手	6.6	岡山	0.7
沖縄	5.4	和歌山	0.3

(中体連HPより)

## 都道府県間に部活動指導力の格差